別記様式第２号（その２の４）（平30文科令４・全改、令元文科令９・一部改正）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学における実験，実習又は実技による授業科目
並びにこれに代替する演習による授業科目一覧
（○○学部○○学科等）

	科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態	臨地実務実習に代えて連携実務演習等（実験，実習又は実技によるものに限る。）を修得させる事由及び見込まれる教育効果
			必修	選択	自由	［臨／連］	
実験，実習又は実技による授業科目	基礎科目						
	職業専門科目						
	展開科目						

	総合科目						
	小計（　　科目）						
		うち卒業・修了に必要な実習等単位数	—		—		
		うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数			—		
演習による実習等	科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態 ［臨／連］	実験，実習又は実技に代えて演習による授業科目を修得させる事由及び見込まれる教育効果
			必修	選択	自由		
	基礎科目						
	職業専門科目						

代替授業科目	展開科目					
	総合科目					
	小計（　　科目）					
		うち卒業・修了に必要な演習代替単位数	―		―	
		うち卒業・修了に必要な連携実務演習等単位数			―	
	合計（　　科目）					
		うち卒業・修了に必要な実習等又は演習単位数	―		―	
		うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数			―	

（注）

1　専門職大学等，専門職大学等の学部等，専門職学科を設ける大学若しくは短期大学，専門職学科を設置する場合又は専門職大学の課程を設置し若しくは変更する場合は，別記様式第２号（その２の１），（その２の２）又は（その２の３）に加え，この書類を作成すること。

2　「授業形態」欄には，実験，実習，実技又は演習の別を記入するとともに，臨地実務実習による授業科目にあっては「[臨]」の括弧書きを，連携実務演習等による授業科目にあっては「[連]」の括弧書きを追記すること。

3　「小計」の欄の「うち卒業・修了に必要な実習等単位数」には，実験、実習又は実技による授業科目の単位数を，「うち卒業・修了に必要な臨地実務実習等単位数」には臨地実務実習又は連携実務演習等（実験，実習又は実技によるものに限る。）に係る単位数を，「うち卒業・修了に必要な演習代替単位数」には演習による授業科目の単位数を，「うち卒業・修了に必要な連携実務演習等単位数」には連携実務演習等（演習によるものに限る。）に係る単位数を記入すること。

4　「実験，実習及び実技に代えて演習による授業科目を修得させる事由及び見込まれる教育効果」の欄には，臨地実務実習に代えて連携実務演習等（演習によるものに限る。）を修得させる場合のやむを得ない事由についても記入すること。

5　卒業・修了に必要な単位のうちに，基礎科目，職業専門科目，展開科目又は総合科目以外の授業科目であって，実験，実習若しくは実技又は演習によるものに係る単位を含める場合には，科目区分の枠を追加して記入すること。

6　課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数及び「単位数」に加え，前期課程に係る科目数及び「単位数」を併記すること。